

## ◆ 石・石碑・石像

マップ表示No.	名称	内容	指定等
6	てんばいせき 天拝石	蜂子皇子がこの石の上に座って天を拝んだと伝わる。元々は手向桜小路の天拝坂にあったが、昭和16年（1941）に現在の場所に移された。羽黒山五水八石の一つ。	
7	とうふじぞうそん 豆腐地藏尊	慶安2年（1649）第50代天宥別当が道中安全を願い二の坂上に建立したもの。明治の神仏分離で神の山となり、藪に倒されていたのを現在の場所に降ろし安置した。延命・子育て・安産にご利益がある。	
17	ふどうみょうおうぞう 不動明王像	生まれかわりを約束する大日如来の化身とされ、修行者を守護し導くとして修験道の本尊とされる。光背の火炎で火と水のバランスを保つことを願い、滝の前に安置される。	
21	ふでづか 筆塚	嘉永元年（1848）に弭間常敏が建立したもの。「含英阻華」…文字の眼目を良く噛みわけて、その意味を胸中に蓄えること。	
22	みょうほうれんげきょういちじいっせききょうひ 妙法蓮華経壹字壹石供養碑	江戸中期以降に道栄寺智傳が建立したもの。石一個に経文を一字ずつ書いて埋めた塚。	市有形文化財
23	よしあきもとてるかひ 義明元照歌碑	「是に来て罪も穢れも祓川 身をば羽黒の神にまかせて」…どんな罪人でも羽黒山に一歩足を踏み入れれば罪が許された。「お山の神々は寛大である」という意味。	
25	さいじょうやしひ 西条八十詩碑	昭和24年（1949）詩人西条八十が古賀正男とともに羽黒山を詣で、参拝帳に誌した詩。「五十路の夏にわけのぼる 羽黒の峰の梅雨雲や また見んことのありやなしと ふり返りゆく山つつじ」	
28	かんこくへいさんざんじんじやくねんひ 官国幣三山神社記念碑	出羽神社は明治6年（1873）に国幣小社、翌7年（1874）に月山神社が国幣中社、湯殿山神社が国幣小社に列格した。同18年（1885）月山神社が官幣中社に列格した記念に建てられたもの。	
29	ひいし 火石	一の坂の左側にある石で、昔は金剛界の大日如来とあがめられた。闇夜に光明を放って燈台のように見えたことからこの名がついたと伝わる。羽黒山五水八石の一つ。	
31	ゆどのさんようはい 湯殿山遥拝	一の坂の葉山祇神社の向い側に立つ標柱で、湯殿山を遥拝する目印。	
32	みさかちゅうおういし 御坂中央石	二の坂茶屋向い参道右側にある里程石。参道の間地点として参拝者の目安となっている。	
-	みかづきづか 三日月塚	享保15年（1730）に建立された芭蕉塚と明和6年（1769）に建立された燈籠がある。芭蕉が詠んだ「涼しさやほの三日月の羽黒山」の俳句にちなみ、三日月塚と称する。	市有形文化財
34	ちょうかいさんようはい 鳥海山遥拝	二の坂御本坊跡向い参道に立つ標柱で、鳥海山を遥拝する目印。	
36	おきなづか 翁塚	文化15年（1818）に第75代覚諄別当が南谷に建立。芭蕉が詠んだ「有難や雪越か保ら須南谷」の句が刻んである。	市有形文化財
40	のぐちうじょうしひ 野口雨情詩碑	詩人で童謡作家の野口雨情が昭和5年（1930）羽黒山に詣で参拝帳に誌した「出羽の三山羽黒の杉は霧にまかれて 夜は寝る」の詩が刻まれた碑。昭和54年（1979）に新潟県関川出羽三山講が建立。	
41	のうじょたいしおまし 能除太子御坐石	能除太子（蜂子皇子）が疲れを癒すため腰かけたとか、太子が昇天の時に召した杓が石の上にあったことから名づけられたという。	
42	がっさんようはい 月山遥拝	能除太子御坐石の側に立ち、月山を遥拝する目印。	
46	じゅうろくちょうじゅうさんけんしゅうてんりていせき 拾六丁拾三間終点里程石	随神門から羽黒山山頂までの距離を表す里程標の終点の石。里程標は一丁ごとに参道に設置され登拝の目安となる。一丁は約109m。	
47	かいさんびょう 開山廟	開山を祭る供養碑。文政6年（1823）第75代覚諄別当が菩薩号を頂戴した記念に建立したものであるが、明治7年（1874）初代西川須賀雄宮司が「ハチコノミコト」と神代文字で刻み直した。	
61	ぼしょうぞう 芭蕉像	昭和48年（1973）株式会社でん六の社長、鈴木伝六より奉納されたもの。	
”	ぼしょうほくつどう 芭蕉発句塔	文政8年（1625）第75代覚諄別当が、芭蕉が詠んだ出羽三山の句を刻み、羽黒山と月山の境の野口に建立したもの。昭和40年（1965）に現在の場所へ移した。	市有形文化財

## ◆ 川・池

マップ表示No.	名称	内容	指定等
-	すがのたき 須賀の滝	明暦3年（1657）第50代天宥別当が月山麓の水呑沢より約8kmの水路を引いて造った人工の滝。神仏分離以前は「不動滝」あるいは「カンマンの滝」と呼ばれていた。	
-	はらいがわ 祓川	月山と湯殿山より流れる京田川であるが、いにしえより参拝者が禊をすることから祓川と呼ばれる。	
-	しんじいけ 心字池	南谷にある「心」の字をかたどった池で、石橋が2ヶ所に架かる。仙境と俗境を区別し、池を渡ることにより彼岸に至ると観念する。この池が人間の俗悪を清め神聖へ導くとされる。	
-	かがみいけ 鏡池	東西38m、南北28mの三神合祭殿前の御手洗池。池そのものがご神体とされ、羽黒神が姿を現す池として信仰されている。古来より願いを込めた銅鏡が奉納されているので鏡池という。	

## ◆ エリア

マップ表示No.	名称	内容	指定等
-	とうげしゅくぼうがい 手向宿坊街	羽黒山の門前町として宿坊が軒を連ね、古来より出羽三山信仰と修験道を支えてきた地域。宿坊を営む山伏は参拝者を受入れ登拝の先達役となる。参拝前に身を清める精進料理を継承し提供している。	
3	もんげんのみやていえん 門前の宮庭園	出羽三山神社社務所庭園で、鎌倉幕府が羽黒山を監視するため差し向けた長吏の館があった場所と伝わる。江戸初期第50代天宥別当が、荒廃した庭園を現在の姿に修築したと云われている。入園無料	
-	はぐるさんおもてさんどう 羽黒山表参道	随神門から羽黒山山頂までの約1.7kmの杉並木と2446段の石段は、第50代天宥別当が慶安4年（1651）から13年の歳月をかけて築いたもの。登拝には約1時間を要する。	
-	ままごさか 継子坂	継母に捨てられた幼子の足跡が残ったことから「継子坂」の名が付いたと伝わる。幼子の供養のため、坂を下ったところに子安観音堂（現、磐裂神社）と子安地藏堂（現、根裂神社）が建立された。	
-	いちのさか 一の坂	子守神社前から葉山祇神社までの登り坂。	
-	にのさか 二の坂	参道中で一番の難所。羽黒山に奉納する燈明油を背負った弁慶があまりの急こう配で油をこぼしてしまったと伝わることから、「弁慶の油こぼし」と呼ばれる坂で、三日月塚までの登り坂。	
-	ごほんぼうあと 御本坊跡	羽黒山のトップにある別当が居住していた「宝前院」という寺の広大な敷地跡。いにしえは関東檀那場からの参詣道者が参籠した。	
-	はぐるさんみなみだに 羽黒山南谷	寛文3年（1663）第50代天宥別当が山上の別当寺を移築した「紫苑寺」址。元禄2年（1689）松尾芭蕉が奥の細道行脚の際に滞在し「有難や雪をかほらす南谷」の句を詠んでいる。	県指定史跡名勝天然記念物
-	さんのさか 三の坂	羽黒山表参道の三つの坂の中で最も長く、440mの石坂が続く。	
-	じゅうごどうさか 十五童坂	参道終点付近にある巖島神社は明治時代までは弁財天堂であった。弁財天の眷属である「十五童子」にちなんで名付けられた十数段の坂。	
-	はぐるさんすきーじょう 羽黒山スキー場	鶴岡市と休暇村庄内羽黒が経営する2つのスキー場を共通のリフト券で利用できる。初心者から上級者向けまで多様なコースを楽しむことができる。	
-	はぐるさんきゃんぷじょう 羽黒山キャンプ場	標高300mの高原の林間地に広がる快適なキャンプ場。テントは設営済で食材も揃っており、初めてのお客様でも手軽に利用できる。運営している休暇村庄内羽黒本館の入浴や朝食の利用も可。	

## ◆ 建物・構造物

マップ表示No.	名称	内容	指定等
-	いではぶんかきねんかん いでは文化記念館	出羽三山の歴史文化を分かりやすく展示。日本遺産のストーリーを映像で紹介するブースもある。 (大人：400円、高校・大学生：300円、小・中学生：200円) 羽黒観光の拠点施設。	
-	でわさんざんじんじゃしゃむしよ 出羽三山神社社務所	明治7年(1874)三山が神社となり、それまで蔵屋敷だった場所が三山の社務を執る場所となった。	
4	ずいしんもんまへのとりい 随神門前の鳥居	正徳6年(1716)黄金堂境内に奉納された鳥居で、大型車が行き交うようになったため、昭和37年(1962)に石灯籠と共に現在の場所に移された。	市有形文化財
5	しんさつじゅよじよ 神札授与所	随神門前にある御朱印やお守りの授与所。	
-	ずいしんもん 随神門	由利郡矢島の領主、生駒讃岐守が元禄8年(1695)に寄進。明治維新までは仁王門と呼ばれ二王尊が安置されていたが、明治3年(1870)の神仏分離令で黄金堂に移され、隨身像を祀り随神門と名称変更。	日本遺産
-	しんばし 神橋	元和9年(1623)に山形城主、駿河守最上家親公が建立したもの。洪水により何度か流され、現在の橋は昭和53年に竣工したもの。全長20.8m、幅4.48mある木造朱塗りの太鼓橋。	
-	はぐるさんごじゅうのとう 羽黒山五重塔	平安時代、平将門(903-40)創建と伝わり、現在の塔は約600年前に再建。元は宝塔山瀧水寺の塔で聖観音菩薩が安置されていたが、現在は大国主神が祀られている。高さ29m、三間五層の素木造。	国宝、日本遺産、ミシュラン★★
-	にのさかちやや 二の坂茶屋	羽黒山表参道の間地点にある茶屋。休憩しながら庄内平野を見渡すことができ、晴れた日には飛鳥が見えることもある。名物は杵つきの力餅。羽黒山登拝の認定証をいただくことができる。	
-	さいかん 齋館	明治までは花蔵院といい、三先達の一つとして格式の高い寺であったが、明治以降は参籠所として参拝者を迎える。齋館からの庄内平野の景色は羽黒八景の一つ。精進料理2200円より(要予約)。	市有形文化財、日本遺産、ミシュラン★★
43	はぐるさんおもてさんどうてみずしや 羽黒山表参道手水舎	2446段の石段を上ってきた参拝者が手を洗い口を漱いで身を清める場所。	
-	さんしゅうでん 参集殿	御祈祷の受付や神札の授与所。ここから三神合祭殿の本殿に進むことができる。また霊祭殿や儀式殿、千佛堂にも通ずる。	
48	せんぶつどう 千佛堂	平成29年(2017)竣工した建物。約250体の仏像仏具が拝観できる。佐藤泰太良(酒田市)が神仏分離により散逸した仏像等を私財を投じて収集し、その子孫がご奉納した仏像を安置。入場無料。	
49	しょうろう / ぼんしょう 鐘楼 / 梵鐘	鐘楼は切妻造の茅葺で山中で五重塔に次ぐ古い建物。建治元年(1275)の銘がある梵鐘は中世以前のものでは日本で3番目の大きさ。蒙古襲来の際に祈祷により撃退した功績により鎌倉幕府から寄進。	重要文化財
50	せかいへいわとう 世界平和塔	昭和24年(1949)月山麓で宿坊を営む神林茂丸が奉納したもの。球は地球、赤と青の線は日本人と外国交流、球の上に乗る霊鳥が日本で亡くなった異邦人の魂を故郷へ届けることを表している。	
60	てみずしや 手水舎	駐車場から境内に入る参拝者が手を洗い口を漱いで身を清める場所。	
-	でわさんざんれきしはくぶつかん 出羽三山歴史博物館	重要文化財となっている鏡池出土の古鏡や松尾芭蕉直筆の追悼句文など貴重な資料を展示している。大人：300円、高大学生：200円、中学生以下：無料(毎週木曜休館。12月1日から4月下旬まで休館)	
-	はちこのおおうじおはか 蜂子皇子御墓	蜂子皇子の御墓。戦前までは宮内庁が管理していた。現在は出羽三山神社が委託されている。	
63	しつらえや 補屋	松例祭で二人の松聖が控えご祈祷する場所。また、大晦日の夜、両松聖に従う若者衆の待機場所となる。	
65	ぶちゅうどう 峰中堂	秋の峰修行者が籠る場所。	
-	きゅうかむらしょうないはぐる 休暇村庄内羽黒	磐梯朝日国立公園の優れた自然環境の中にあるリゾートで、羽黒山や月山の参拝や観光に便利な立地にある宿。平成30年(2018)には温泉「羽月の湯」が開湯した。キャンプ場とスキー場も併設。	
-	はぐるさんゆりょうどうろりょうきんじよ 羽黒山有料道路料金所	羽黒山山頂へ通じる一般自動車事業による有料道路の料金ゲート。庄内交通株式会社が運営している。自動二輪：200円、普通自動車：400円、普通貨物車(4ナンバー)：600円、バス：1400円	
-	がっさんびじたーせんたー 月山ビジターセンター	出羽三山の自然景観や地形、気候の特色、動植物の生態などを分かりやすく展示・解説し、自然とふれあうきっかけをつくる施設。月山を中心としたジオラマと航空写真で月山周辺を眺められる。	
-	こうたくじ 荒沢寺	羽黒山の奥之院であり羽黒山修験本宗道場としてかつては女人禁制の聖地。白鳳年間に役行者、大同元年(806)に弘法大師が登山し、ここで修行したと伝わる。庄内札所三十三観音霊場首番。	
-	はぐるさんかみじおおはし 羽黒山神路大橋	主要地方道鶴岡羽黒線の祓川(京田川)に架かる国内有数の連続曲弦トラス橋で、全長は272mある。令和2年度内(2020)に供用開始予定。	

## ◆ 樹木

マップ表示No.	名称	内容	指定等
19	しめかけざくら 注連掛桜	祓川で禊をする時に注連を掛けるカスミザクラの古木。	
-	じじすぎ 爺スギ	五重塔の近くにある羽黒山で最大・最古の巨木で推定樹齢は1000年。根囲10.5m、幹囲8.25m。かつて付近にあった「相生杉」と共に「相生杉」とよばれたが、「婆スギ」は明治35年の暴風で倒れた。	天然記念物、日本遺産
-	はぐるさんのすぎなみき 羽黒山のスギ並木	随神門から羽黒山頂まで約1.7kmの参道両側に立ち並ぶ杉並木で、樹齢は300年から500年を超える老杉。石段の中央より両側6mずつが特別天然記念物に指定されている。	特別天然記念物、日本遺産、ミシュラン★★★★
-	めおとすぎ 女夫杉	一の坂途中参道右側にある杉。二本の木の根がからみあい、幹の途中で枝がもう一方の幹に突き刺さって、まるで男女が交わるような形をしている。この木を抱擁すると子供を授かると伝わる。	
-	みなみだにのかすみざくら 南谷のカスミザクラ	南谷庭園跡地にあった推定樹齢300年のオオヤマザクラが、昭和56年(1981)に台風で折損した後、その枯損木から萌芽した若木。毎年4月頃に花を咲かせる。	天然記念物
-	たやむらすぎ 田谷村杉	三の坂参道右側の谷間に広がる杉林。文政の頃(1800年代)田谷村(旧余目町)の篤信家である渡辺作左エ門が約千本の杉苗を奉納し植栽したもの。	

◆ 神社

マップ表示No.	名称	御祭神	御神徳	神仏分離以前の堂名	指定等
1	てんどういなりじんじや 天童稲荷神社	稲荷神	穀霊神、農業神、商工神	天童稲荷神社	
2	にいもりいなりじんじや 新森稲荷神社	稲荷神	穀霊神、農業神、商工神	新森稲荷神社	
8	やさかじんじや 八坂神社	須佐之男命	水難、火難、病難除去、五穀豊穰	牛頭天王	
-	てんちこんじんじや 天地金神社	天地金神、須佐之男命	人間の救済	元三大師堂	
9	いわさくじんじや 磐裂神社	磐裂神	生命力向上	子安観音堂	
10	ねさくじんじや 根裂神社	根裂神	生命力向上	子安地藏堂	
11	いたけるじんじや 五十猛神社	五十猛神	造船、航海安全、漁業、商売繁盛、海運招福、病疫退散、厄除け	閻魔堂	
12	おおとしじんじや 大年神社	大年神	五穀豊穰、諸産業隆昌、家内安全、開運、除災招福、夫婦和合、縁結び	勢至堂	
13	てんじんじや 天神社	少彦名神	国土安穩、産業開発、病気平癒、漁業、航海守護	弘法大師堂	
14	とよまひめじんじや 豊玉姫神社	豊玉姫神	安産、子孫繁栄、農業守護、漁業航海安全	観音堂	
15	はくさんぐう 白山宮	菊理姫神、伊邪那美命	五穀豊穰、牛馬安全、縁結び、産業繁栄、商売繁盛、国家鎮護、出世開運	白山宮	
16	はらいがわじんじや 祓川神社	瀬織津比咩神、速開津比咩神、気吹戸主神、速佐須良比咩神	罪穢れを消滅	祓戸社	
18	いわとわけじんじや 岩戸分神社	天手力雄命	技芸上達、スポーツ向上、厄除け		
20	おりいしゃ 下居社	伊邪那岐神、伊邪那美神、匂々延馳神、彦火々出見尊、水波女神、天八降神、天照皇大神	産業繁栄、商売繁盛、開運招福、航海安全、子宝、安産、国土平安	姥堂	
24	こもりじんじや 子守神社	天之水分神、国之水分神	水を施し配る	普賢堂	
26	てんまんじんじや 天満神社	天満大自在天毘食神	詩歌、文筆、芸能、学問上達、受験合格、農業守護、病気平癒	天神堂	
”	うけもちじんじや 保食神社	保食神	牛馬畜産、航海安全、産業開発、出世、必勝祈願	馬頭観音堂	
27	おおなおびじんじや 大直日神社	大直日神	穢れや禍を直す	愛染堂	
30	はやまづみじんじや 葉山祇神社	葉山津見神	農産、山林、鉱山業守護	一ノ坂大日堂	
34	あたごじんじや 愛宕神社	火産霊神	鎮火、火難除け、郷土守護	愛宕堂	
”	ひえじんじや 日枝神社	大己貴命、大山昨神	縁結び、子授け、夫婦和合、五穀豊穰、諸産業隆盛、家系繁栄、醸造守護	伊弉諾山若一王子山王堂	
36	いざなぎいなりじんじや 伊弉諾稲荷神社	伊弉諾稲荷神	五穀豊穰、産業興隆、商売繁盛、家内安全、芸能上達		
38	みなみだにいなりじんじや 南谷稲荷神社	南谷稲荷神	五穀豊穰、産業興隆、商売繁盛、家内安全、芸能上達		
-	はにやまひめじんじや 埴山姫神社	埴山姫命	縁結び、田畑開墾の守護、陶磁器業の守護、子宝、安産守護	接待地藏堂	
39	はちまんじんじや 八幡神社	譽田別神	国家鎮護、殖産興業、勝運招来	八幡堂	
44	いつくしまじんじや 巖島神社	宗像三神（多紀理比売神、多岐津比売神、市寸島比売神）	豊漁、海上安全、商売繁盛、芸能上達、財運増大	弁才天堂	市有形文化財
40	おざきじんじや 尾崎神社	武甕槌命	武道守護、芸能上達、国家鎮護、殖産興業、豊漁、航海安全、安産守護	毘沙門堂	
45	はちこしや 蜂子社	蜂子皇子神		開山堂	市有形文化財、日本遺産
-	さんじんごうさいでん 三神合祭殿	月山神社：月読命、出羽神社：稲倉魂命 湯殿山神社：大山祇命・大己貴命・少彦名神	五穀豊穰、産業興隆、海上安全、家内安全、鉱山業守護、縁結び、国土安穩	御本社	重要文化財、日本遺産、ミシュラン★★
-	れいさいでん 霊祭殿			佛立堂、地藏堂	
52	とうしょうしゃ 東照社	東照大権現神		東照宮	市有形文化財
53	みこししゃ 神輿社				
54	おおいかづちじんじや 大雷神社	大雷神	農業守護、国家鎮護、豊漁		
55	たけつぬみじんじや 建角身神社	建角身命	旅の安全、健脚	行者堂	
56	いなりじんじや 稲荷神社	保食神	牛馬畜産、航海安全、産業開発、出世、必勝祈願	稲荷社	
57	おおやまつみじんじや 大山祇神社	大山祇神	農業守護、林業守護、漁業守護	湯殿山本地堂、大日堂	
58	はくさんじんじや 白山神社	白山比売命	五穀豊穰、牛馬安全、縁結び	大師堂	
59	おもいかねじんじや 思兼神社	八意思兼神、天八百日魂命、大市姫神、しぎ山姫神、猿田彦大神	家運隆昌、出世開運、入試合格、商売繁盛、家運招福、災難方位除、縁結び	文殊堂、弁財天十五童子堂、五智堂、庚申堂	
60	やさかじんじや 八坂神社	健速須佐之男神	水難除、火難除、病難除去	月山本地堂、弥陀堂	
63	てんゆうしゃ 天宥社	天宥霊神		竹之院	
65	ふきこしじんじや 吹越神社	蜂子皇子神		吹越開山堂	
67	やまじんじや 山神社				